

個性の保存 歌舞伎町一丁目における都市の更新方法の提案

曾我部研究室 三浦 亜也奈

研究概要： 歌舞伎町一丁目において、一般的にネガティブに捉えられる要素の蓄積による無秩序な景観を一定の価値のあるものとみなし、調査によって得られたそのような要素を街の個性として一つの建築に反映させ、設計した。

研究目的： 今後、都市の宿命としてある程度の機能的視点の開発は免れない中で、この建築が街の個性を繋ぎとめる存在になることを目的とする。

研究成果：

2.2m~8.6m様々な天高の室をつくることで空間の活用の仕方に幅をもたせ、使い手の独自性を刺激する。

また、上レベルに床がなく人で賑わう外部空間から隔離し、各テナントの独立を守る。

特徴的なスリット空間



苦労した点や感想など： 歌舞伎町の街の景観を創る無秩序な要素をどう建築の設計に絡めるかといった点に苦労しました。自分の大好きな東京の街の個性を守りたいという軸を最後まで見失うことなく提案に繋げることができて嬉しいです。

最後までサポートしてくださった先生方、ありがとうございました。